

What do you want to work for? ●●●●●● 公務（他に分類されるものを除く）

芦北町役場

地方公務



自然と歴史、文化に誇りを抱くまちづくりで
魅力あふれる郷土を未来に引き継ぐ。



企業の取り組み

芦北町の豊かな自然と歴史、文化に誇りを抱き、魅力あふれる郷土を子どもたちの未来に引き継ぐ、それがまちのテーマです。実現にむけて住民と行政が連携し、住みたい、住み続けたいと思える個性が輝くまちづくりを推進しています。また、地域に愛着と誇りをもった人材を育み、定住人口の確保と交流人口の増加を図っています。研修制度を充実させ、職員のスキルアップを地域貢献へとつなげます。

芦北町長 竹崎 一成
住 所 熊本県葦北郡芦北町
大字芦北2015番地
T E L 0966-82-2511



風光明媚な不知火海（八代海）

先輩からひとこと！



「できません」は簡単。
でもやってみることで、
やりがいも成長もある。

住民生活課 総合窓口係 主事

杉村 希さん
SUGIMURA NOZOMI
八代高等学校卒

Advice

学生だった頃、芦北町役場に住民票を取りに行く機会があり、その際に素早く丁寧な対応をしていただいたことに感銘を受けました。また、いきいきと働く先輩方を見て、人々のために働く「公務員」という職業に興味を持ち始めました。現在は主に戸籍事務、マイナンバーカードに関する業務を行っています。来庁されるお客様の相談内容によっては、法律や条例によって要望をかなえることが難しい時も多々あります。そこで諦めて「条例で決められているためできません」とお伝えするのは簡単ですが、親切な対応とは言えません。法令を調べたり関係機関に相談をして最善の対応を考え、結果的にお客様の希望をかなえられた時に達成感を感じますし、感謝の言葉をかけていただいた時にやりがいを感じます。また、いろいろな対応をすることで、調べたり考えたりする機会も増えて自分の経験値が上がって、自分に返ってくると思います。今後はもっとお客様の声に耳を傾け、知識を増やしているんだ対応ができるようになります。



魅力的な観光スポットもたくさん



地域住民の暮らしを支え、
芦北の魅力を発信

自衛隊・熊本地方協力本部 八代出張所

国家公務



国防、人命救助、被災地の復旧など 「平和を仕事にする」それが自衛隊です。



航空自衛隊

先輩からひとこと!



喜びと達成感を感じながら
常に責任感を持って
能力向上に尽力しています!

陸上自衛隊・中部方面隊 第10後方支援連隊

鍋島 礼愛さん

NABESHIMA AYAME

八代白百合学園高等学校卒

Advice

自衛隊が災害派遣等の際、懸命に人命救助に尽力すると共に、生活基盤を失った被災者に物資の供給支援や生活支援を実施する姿を見て「かっこいい」と憧れ、自衛隊に就職しました。現在は「需品科」の隊員として勤務しています。任務は「需品科」に対する後方支援。糧食、燃料、需品器材や被服の補給・整備及び回収、給水・入浴・洗濯等を行います。「需品科」はとても重要な仕事です。各部隊に必要な物資が届けなければ部隊の任務遂行に影響を与えますし、災害派遣活動では、生活支援の給水支援及び入浴支援を行う職種でもあるので、常に責任重大です。やりがいを感じるのは、各部隊が訓練や実際の任務で、物資が不足することなく円滑に任務を完遂できた時。災害派遣活動等で、被災された方から感謝の気持ちを聞いた時は、人を助けられた喜びと「人の役に立つ仕事をしている」という達成感を感じました。今の目標は、陸上自衛隊の3等陸曹に昇任する事。昇任し、上司や先輩から信頼され、後輩から頼られる自衛官になりたいと思っています。



海上自衛隊



自衛隊熊本地方協力本部
八代出張所



企業の取り組み

「自衛官が一滴汗を流すと、誰かが流す涙が一滴減る」。これはTV「沸騰ワード10」でのメイプル超合金のカズレーザーさんの言葉です。令和2年7月熊本県内の豪雨時は、自衛隊は最前線で人命救助や行方不明者の捜索を実施。被災した方々の笑顔が一刻も早く戻るよう、隊員一丸となって災害派遣活動にあたりました。どんな状況下でも最善を尽くし国民を守る「平和を仕事にする」。それが自衛隊です。

所 長 上野 喜章
住 所 八代市松江町 526-3
T E L 0965-33-7001

氷川町役場

地方公務



職員の能力向上をサポートし、 安心と幸せを実感できる町に。



企業の取り組み

まちの将来像として、小さな町で大きな幸せを感じる「田園都市・氷川」を掲げる氷川町。子育てから介護まできめ細やかな支援を実施し、住民が安心して暮らせ、幸せを実感できる持続可能な町を目指しています。職員には、新たな人事評価制度の導入、DX人材の育成などさまざまな研修を充実させ、知識や能力の向上をしっかりサポート。地域の活性化や町づくりに携わり、町民のためになる仕事です。

氷川町長 藤本 一臣
住 所 八代郡氷川町島地642
T E L 0965-52-7111



氷川町役場

先輩からひとこと！



地域の生活を支えながら、
役場をもっとスムーズで、
使いやすい場所にしたい。

福祉課 主事
杉谷 寛太さん
SUGITANI KANTA

Advice

高校3年生の頃、公務員として地元の役に立ちたいと思い、大学で地域創成について学び、地方の過疎化の改善などに貢献したくて志望しました。現在は主に障がいを持つというしるしの方が、できるだけ快適に生活できるよう、身体障がい者手帳などの発行や、医療費の助成、手当の支給の管理を担当しており、福祉課での窓口業務も行っています。達成感を得られるのは、自分の仕事で住民の方の生活を支えられていると感じた時です。私生活で、障がいを持たれている方が障がい者手帳を使われてスムーズに福祉サービスを受けられているところを見かけると、生活を支えられていると実感できます。また、直接住民の方に説明をする立場にあるので、まずは自分が手当てや助成などの内容を理解し、専門的な知識を身につけるといった点を大切にしています。今後は、住民の方がよりスムーズに様々なサービスを受けることができるよう、役場をもっと使いやすく、住民の方との距離が近くなれるような場所にしていきます。



氷川町キャラクターひかりん

特産品の美味しい晩白柚

八代市役所

地方公務



しあわせあふれる ひと・もの 交流拠点都市 八代市の快適に暮らせるまちづくり。



令和4年2月から新庁舎での業務を開始

先輩からひとこと!



市役所の各部署で
スキルアップを積みながら、
地域に貢献したい。

障がい者福祉課
松本 知祥さん
MATSUMOTO CHISAKI
八代工業高等学校卒

Advice

市役所での業務は、住民の生活環境、産業振興、防災、社会福祉など多岐にわたり、入庁後は、それぞれの担当部署を経験していきます。そのため、常に新鮮さを感じながら業務に当たることができ、キャリアを重ねるごとに自身の知識や経験の幅も広がります。また、税や福祉などの日常生活で役に立つ知識も仕事を通じて身につけることができるのも魅力です。そうした職員一人ひとりの努力やスキルアップが地域貢献に繋がっていくのだと思います。現在は障がい者向けの医療費助成を担当しており、毎月約2000人の方に何千万という金額を支給するという、責任のある仕事を任せてもらっています。障がい者の方の支援に直接携われるこの仕事にやりがいを感じており、窓口で「いつもありがとうございます」と声を掛けてもらえると、貢献できたことがとてもうれしく感じられます。これからいろいろなジャンルの部署を担当し、経験を積んでスキルアップに努め、仕事でもプライベートでも信頼・信用される人を目指していきます。



仕事は防災・福祉・環境・産業振興など広範囲

企業の取り組み

「しあわせあふれる ひと・もの 交流拠点都市「やつしろ」」がまちの理念。子どもから高齢者まで安全で安心に、快適に暮らせるまちづくりを進めています。また県南地域の中核都市として、南九州における物流・人流の拠点機能をさらに高め、一層魅力あふれる都市としての飛躍を目指します。職員においては研修会やスキルアップをうながすことで、市が目指す将来像を実現できる人材の育成を行っています。



八代市長 中村 博生
住 所 八代市松江城町1-25
T E L 0965-33-4102 (人事課)